

栃木ゆかりの版画家 三浦麻梨乃展



2023年6月21日(水) — 9月3日(日)

会場 鹿沼市立川上澄生美術館 1階展示ホール (入場無料)

開館時間 午前9時から午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(7月17日は開館)、7月18日(火)

作家在館日 6月21日(水)、会期中の日曜日 各日午後1時から午後5時

イベント ギャラリートーク (作家による刷りの実演)
7月22日(土) 午後2時から 事前申し込み不要

出品作品リスト

都合により出品作品を変更する場合があります。

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (mm)	備考
1	上を向いて	2003年	エッチング/ ハーネミュール紙、雁皮紙	196×176	
2	里がえり	2015年	エッチング、一版多色刷り、一部手彩/ ハーネミュール紙、雁皮紙	175×236	第61回 CWAJ 現代版画展入選
3	月光浴	2017年	エッチング/烏山和紙	284×444	和紙の里ひがしちちふ展 (第15回展) 2018入賞
4	空の深さを知る者	2018年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	405×315	
5	世界は広い	2019年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	245×186	
6	心の花がひらく時	2019年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	247×187	
7	以心伝心	2019年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	247×187	
8	シャンデリア	2019年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	246×186	
9	心うるおう	2021年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	245×186	
10	光のせせらぎ	2019年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	247×186	
11	白昼夢	2020年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	246×186	
12	ひたむきにすこやかに	2021年	エッチング、一版多色刷り、一部手彩/ ハーネミュール紙、雁皮紙	245×187	

No.	作品名	制作年	技法	寸法 (mm)	備考
13	星ふりそそぐ	2019年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙	246×186	
14	だんだん大きくなっていく	2021年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	245×186	
15	心ゆるやかに	2021年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	246×185	
16	ぼくらはみんな生きている	2023年	エッチング/ ハーネミュール紙	497×762	
17	ぐんぐんのびる	2019年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	438×285	第63回 CWAJ 現代版画展入選
18	陽がまた昇る	2020年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙	441×283	和紙の里ひがしちちぶ展 (第18回展) 2021入賞
19	乾杯の盃	2020年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	443×288	和紙の里ひがしちちぶ展 (第19回展) 2022入賞
20	こいのぼり	2021年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	440×286	第65回 CWAJ 現代版画展入選
21	かえるのうた	2021年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	255×325	
22	しゃぼん玉とんだ	2021年	エッチング、一版多色刷り/ ハーネミュール紙、雁皮紙	256×325	

作者の言葉

くすぐったくなるような遊び心のある世界が大好きです。

私が描く世界は予測不能な小動物の仕草や行動に人間社会の縮図を見出しながら表現する「ささやかな幸せ」を感じる物語です。小さな生物たちが案内人となり、日々思い浮かんだ気持ちや感覚を大切にしようという願いを込めて銅版画を刻み続けています。

今回はライフワークとしている「銅版画で童心にカエル」シリーズ、「カエル」が主人公の作品を発表します。銅版画で初めて描いた動物がカエルでした。表現の道に迷っていた大学生の時に銅版画と出会い、幼少期より身近に触れ合っていた好きな生物、カエルが描く事の楽しさに再び手を差し伸べてくれました。

銅版画の点と線で丁寧に世界を紡ぐ表現は、じっくりと一つの事にとりくむ無邪気な心を取り戻してくれます。画面下に記されるタイトルは言葉と親和性がある版画ならではの楽しみです。見る人の心に寄り添うキャッチフレーズとして毎回ユーモアをもたせて考えています。

遊び心を持って生活の中にささやかで楽しい事を見つけ出す。その積み重ねが心を潤わせ、幸せをひきよせると感じています。

身近に在る豊かさを楽しむ心「童心にかえる時間」を楽しんで頂けたら幸いです。

みうら まりの 三浦 麻梨乃 略歴

2005年 文星芸術大学美術学部美術学科 油画専攻卒業 卒業制作奨励賞

2011年 文星芸術大学 油画研究室 助手 (2015年3月まで)

2015年 栃木県文化振興基金助成事業にて烏山和紙の銅版画用和紙を福田製紙所と協働制作 (2016年3月まで)

その他 ワークショップ講師を宇都宮美術館、小杉放菴記念日光美術館、鐵竹堂、久保記念館、CCGA 現代グラフィックアートセンター、五浪美術記念館、福島県立美術館で務める。下野新聞 (2018年元日)、日刊新聞マメタイムス (2022年、2023年元日) で挿絵が掲載される。

〈展示・賞歴・収蔵〉

2014年 第59回 CWAJ 現代版画展 入選(同15年,17年,19年,22年)

2018年 版画フォーラム 2018 和紙の里ひがしちちぶ展 入賞(同21年、22年入賞)

CWAJ 現代版画展アメリカ展 選出

(ハイフィールド・ホールズ・アンド・ガーデンズ/アメリカ)

カエルアートミュージアム～進化するカエルアートの世界～

(京王プラザホテル/新宿)

2020年 個展 (GallerySeek/銀座)

2022年 2人展 (ギャラリーシエール/宇都宮市) ,23年

作品収蔵 宇都宮市立西が岡小学校、肱川風の博物館/愛媛

毎年全国各地で個展、グループ展多数開催